

三豊市から小学生交流 「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」で来町

相互交流を行って
いる友好都市三
豊市から、小学生が
3泊4日の日程で当
町を訪れました。

来町したのは「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」の児童14人。

地元小学生との交流をはじめ、ピタ

ターセンターや洞爺湖芸術館などの施設見学のほか、湖畔でのカヌー試乗、じゃがいも堀なども体験し洞爺を満喫しました。

7月30日の洞爺夏まつりでは、太鼓台のパレードを見学し、自分の故郷との関係をあらためて感じていました。



湖畔で遊ぶ三豊の児童たち



交流を深める箱根と洞爺湖町の中学生

8月3日姉妹都市の箱根町から親善訪問使節団(団長:佐宗恵美子箱根の森小学校長)が、2泊3日の日程で当町を訪れました。

毎年行われている総合交流の一環で、当町からは7月27日から2泊3

日の日程で中学生6人が訪問してきました。

今回、箱根町からは中学生6人が来町。歓迎式では、真屋町長が「2日間良い思い出となるよう楽しんでいってください」と歓迎の挨拶を述べました。

一行は地元中学生との交流会やカヌー体験などを行い、楽しい日々を胸に刻み帰路に着きました。

変わらぬ友好と交流 箱根町親善使節団訪問

平成23年度の虻田地区戦没者追悼式が、8月3日45人の遺族ら関係者が参列し、青葉忠魂碑前で行われました。式典では、全員黙祷の後、真屋町長が「謹んで追悼の誠を捧げます。平和と繁栄が末永く続きますようご祈念申し上げます」と式辞を述べました。

引き続き、北海道、洞爺湖町議会議長、北海道連合遺族会、洞爺湖町遺族会長が、戦没者に追悼の言葉を述べ、最後に参列者全員が菊の花を捧げ戦没者の冥福を祈りました。



菊の花を手向ける遺族の皆さん

永遠の平和を誓う 虻田地区戦没者追悼式

七夕の日を楽しむとうや子ども共和国 流し冷麦に笑顔こぼれる



おいしそうに冷麦をほおぼる子どもたち

洞爺地区の夏の恒例行事「とうや子ども共和国」(佐々木愛梨大統領=洞爺中学校3

年)が、8月7日、洞爺総合支所前の駐車場で開かれました。

今年も人気は流し冷麦。多くの子どもたちが集り、流れてくる冷麦やみかんを待ち構え、美味しそうにほおぼっていました。同時に七夕飾りコンテンスも行われ、親子で思い思いの願いを書いた短冊を飾り付けていました。

最後に木村省平実行委員長が「ケガや病気をしないで元気に始業式を迎えてください」と挨拶し夏休みの1日を楽しましました。